

令和7年度テストベッド実証支援事業委託業務  
企画提案に係る質問と回答

令和7年3月7日

令和7年2月27日から令和7年3月5日までに頂きましたご質問について、以下のとおり回答いたします。

※件名・ご質問内容をそのまま掲載しております。

No	件名	質問内容	回答
1	事業年数について	<p>本事業はいつからスタートし、今後何年間の実施を想定されておりますでしょうか</p> <p>※中長期的な事業運営を設計したく、ご質問申し上げます。</p>	<p>事業計画期間は、令和6年度から令和8年度までとなっておりますが、事業継続の必要性は毎年査定されるため、確約できるものではありません。</p>
2	昨年実績について	<p>昨年度 PJT については実証支援金対象 2 件（1000 万補助率 1/2）、（別事業）実証支援 5 件が KPI と拝見しました。HP 上で、7 社の支援を確認できますがどの PJT が実証支援金対象かわかりません。ご教示いただけますでしょうか。</p>	<p>令和6年度は、以下の3件を採択しました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 血液製剤のドローン配送事業実証</li><li>② RFID 技術を活用したクリーニング業専用物品管理システム事業実証</li><li>③ 女性専用ライドシェアサービス事業実証</li></ul>

3	過年度事業についての振り返り	<p>事業における課題、特に KPI や実証事業規模についてご教示いただきたくお願いいたします。</p> <p>また、R7 年度の採択 PJT、事業者へ期待することがあれば併せて教えてください。</p>	<p>当該事業は、革新的なデジタル技術・サービスを持つ県内外の企業等による県内での実証実験の実施に関する支援を行い、イノベーションの創出につなげ、社会課題の解決等を図ることを目的しております。</p> <p>令和6年度の活動目標は、実証実験への支援を2件としております。</p> <p>令和7年度活動目標は、県内における先端技術を活用した新たな実証実験の件数を5件としております。</p> <p>当該事業では、幅広い分野の多様な実証実験に対する支援、補助金応募の事前相談や補助事業者の採択後の伴走支援等を的確かつ効果的に実施すること求められることから、その実施に必要な能力（ノウハウ、実績等）、組織、人員等を有する事業者からの応募を想定しております。</p>
4	過年度事業の成果物について	<p>過年度事業における成果物は沖縄県に帰属されているかと存じますが、採択された場合どの範囲で共有をいただけますでしょうか。</p> <p>※工数を見積もる上で、大きな指標となるため具体的なご教示をいただきたくよろしくお願いいたします。</p> <p>【成果物イメージ】</p>	<p>過去のリスト等のデータについては、必要に応じて共有いたします。</p>

		<p>①支援対象者の公募・発掘</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PJT エントリーリスト</li> </ul> <p>→昨年度エントリー事業者へのPR等の観点で重要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前相談履歴等</li> </ul> <p>②テストベッド実証評価検討委員会の設置・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種委員会で作成した資料</li> </ul> <p>→委員会メンバーは継続しながら、制度のブラッシュアップすることが重要と考えます。</p> <p>③伴走支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採択PJTに対する、伴走支援内容</li> </ul> <p>④PR関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PR実施施策、またその効果</li> </ul> <p>→YOUTUBEなど、継続利用が可能か</p> <p>→出展したイベントの確認やそのアンケートなど</p>	
5	前年度事業者との引継ぎ	前年度事業者との引継ぎは面談等の機会を頂戴することは可能でしょう。	県において過去の委託事業受託者との面談等の調整は行いません。
6	実証支援金について	支援金付きの実証実験として5件を確認いたしました。支援金の割り振りやその総額についてお伺いできますでしょうか。	現時点では、令和6年度と同様に、採択事業1件あたり上限1,000万円、補助率2分の1を予定しております。また、採択件数は5件を予定しております。